ることのない酒づくりの「伝承」が可能となる。実は、この実践こそが、「新潟清酒学校」であろうと思います。

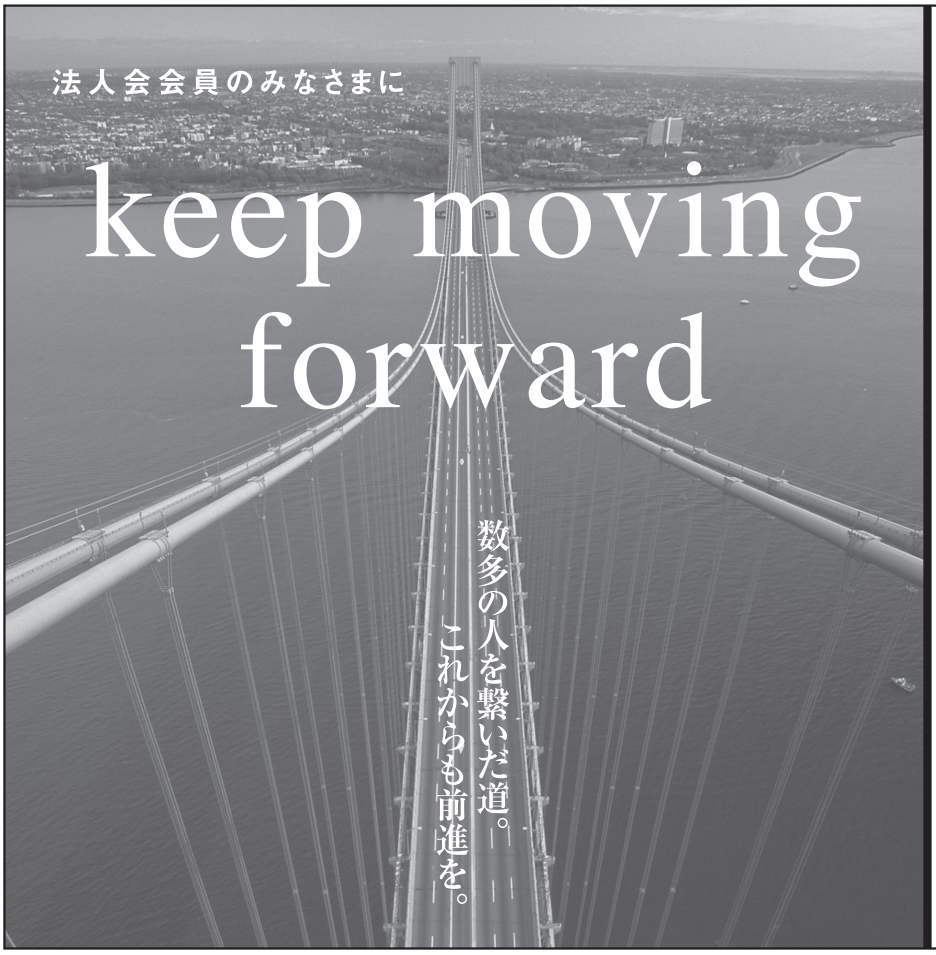
蔵人の高齢化が叫ばれ、これからの酒づくりをどうするかという課題を検討した結果「清酒学校」の設立となったわけであります。その「清酒学校」が、今年「三十周年」を迎えました。日本で唯一の業界内〝技術者養成学校〟です。県内九十二蔵元で、この間、卒業生四五一名となり、各蔵で活躍しています。そのトップに君臨している「杜氏」役が三二名となりました。

今日、「新潟清酒」は、そのクオリティの高さとブランドの高さを誇っています。その陰にはなみなみならぬ担い手の育成とそのシステムづくりがあります。この二つのことばと共に。「教育はすべてに優先する。」「日本酒は文化。」

支部だより

東蒲支部

東蒲支部では、去る五月二十一日㈫、阿賀町長、新潟県議会議員、新津税務署長、新津税務署法人課税部門上席国税調査官、東蒲原郡商工会振興協議会長を来賓にお迎えし、平成二十五年度東蒲支部総会を麒麟山温泉 雪椿の宿「古澤屋」で開催しました。佐藤俊一支部長開会の挨拶の後、平成二十四年度事業報告並びに収支決算、平成二十五年度事業計画（案）並びに収支予算（案）が審議され、それぞれ承認、決定されました。すべての議案についての審議が終了し、引き続き来賓の方々より祝辞をお願いし、初めに蹲新津税務署長より、次に神田阿賀町長様、澤野新潟県議会議員様の順で祝辞を頂いた。次いで、時間の都合上、植木東蒲原郡商工会振興協議会長、黒井新津税務署上席国税調査官を紹介した。その後、福利厚生研修会を実施し、大同生命保険様、アフラック様より保険商品について説明をいただき終了しました。閉会後、記念講演と言うことで財団法人新潟経済社会リサーチセンター佐々木様より『成功する企業経営のポイントとは?』と言うテーマで講演をいただきました。終了後、異業種交流の場として懇親会を開催し各企業と法人会の発展を願って会員相互の親睦を深めることが出来ました。



法人会の経営者大型総合保障制度
広げよう
企業保障の
大きな傘を

これからも
企業の繁栄を
サポートしつづける
経営者大型総合
保障制度です。

DAIDO 大同生命
新潟支社/
新潟市中央区上大川前通6番町1214−2
TEL 025−228−6226

AIU AIU保険会社
新潟支店/
新潟県新潟市中央区上大川前通6番町1214−2
（大同生命ビル7F）TEL 025−223−6231

◎ご検討・ご契約にあたっては、設計書（契約概要）・注意喚起情報・ご契約のしおり 約款を必ずごらんください。

「霊山」トレッキング

（やっとめっけだ福島の山）

霊山は、ゆったりとした気分で、自分の家の庭を歩くように、一本一本の樹々を、一つ一つの岩をいつくしむような気持ちで歩きたい。ただ歩いた距離だけをかせぐとか、がむしゃらに歩きたいとか、そんな方にはあまり向いていない。でも……そんな方でも霊山に来るとゆっくりと歩きたくなるから不思議だ、

福島の山の中にやっと見つけた
わたしだけの山　りょうぜん
霊山
だからゆっくりと自然と歴史にふれながら歩いてみたい。
いつまでも、そっとしておいてほしい、
私がやっと見つけたわたしの山だから。

霊山（りょうぜん）は、福島県伊達市と相馬市との境にそびえる標高八二五メートルの山である。国の名勝、日本百景、及びうつくしま百名山に指名されている。また、南北朝時代の重要な城跡遺構として国の史跡にされている。

六月二十二日㈯新津朝六時三十分出発、絶好の登山日和、参加者一行三十一名、元気良く思い思いの服装で一路、福島霊山へ胸を躍らせ出発進行。……

ガイドさん（愛称＝蒲原スズメ）の軽快な口調で車中の和やかなムードのうちに磐越自動車道～東北自動車道とひた走り、福島西Ｉ・Ｃで下道に降り、霊山登山口の駐車場到着、九時三十五分。

それぞれ身支度を整え、サアー出発だ！

登山口からおよそ十五分で最初の奇岩、「鍛冶小屋岩」に到着です、たどり着くまでの坂がすこしきつい、まだ足元も不安定で呼吸リズムも整わないまま登り始めたもののさすが堪えた。鍛冶小屋岩からおよそ五分、「宝寿台」に到着。岩から見下ろすと「霊山子供の村」が一望でき、初めて登る方はここが最初に下界を見下ろす場所で景観の良さに先ず感服する。

宝寿台からおよそ三分で「見下ろし岩」に到着です、宝寿台から近いこともあり、同じく霊山子供の村が見渡せ、子供の村から霊山を見上げるとちょうど正面がこの見下ろし岩のあたりとなり「絶景なる霊山の全貌」が見られる。

登山口から鍛冶小屋岩までのキツさはなくなりこのあたりから登りやすくなってきた。

「日暮れ岩入り口」の分岐点を直進し、見下ろし岩からおよそ十五分。「天狗の相撲場」に到着、相撲場というだけあって平らな岩が谷に突き出ていた。

「護摩壇入り口」を左折し、「親知らず・子知らず」を経て「護摩壇」に到着、親知らず・子知らずは人一人が通れるほどの狭い岩の通路と絶壁がスリル満点でした。親知らず・子知らずを抜けた後の護摩壇は目の前に福島盆地、吾妻・安達太良連峰などの大自然のパノラマが広がり、あまりの絶景に驚くばかり。

しばし絶景に酔いしれながら小休止の後、歩きはじめ「国士舘跡」を経由し、少し登ったところに「霊山城跡」があり、石碑が建立され古を感じ、しかもトイレもあり広々とした平坦な場所で一行は昼食の場所と決めた。

友達同士・職場の仲間と昼食をひろげ、ビールを飲む人、お湯を沸かしてコーヒーをいれる人、カメラを撮る人、思い思いの一時の休憩を過ごした。

大自然を十分満喫し、それぞれ下山開始。

多少のアップダウンを繰り返し約十分、霊山の最高峰（八二五メートル）「東物見岩」に到着、ここからは三六〇度全方位が見渡せ、太平洋を見ることも出来るが、あいにく天気が良すぎて見ることは出来なかった。

東物見岩から「学問岩」を経由して約十分で「蟻の戸渡り」に到着、幅の狭い岩が並んでいるのが特徴で多少危険性が感じられたが無事通過し「望洋台」から右折し「五百羅漢岩」「弘法の突貫岩」「日暮岩」と巡り下山しました。

午後二時三十分登山口駐車場到着、バスに乗車、点呼、全員集合、サアー帰路である。

多少お疲れの様子ではあったが、バスガイド（蒲原スズメ）さんの名調子で東北自動車道を直走り、途中安達太良サービスエリアで旅の土産を買い込み、磐越自動車道と一路、新津に直進し予定どおり、午後六時十分頃到着いたしました。